

館山市地域公共交通網形成計画 パブリックコメントでいただいたご意見と対応について

	性別	ページ	意見概要	意見への対応
1	女性	-	鉄道と各駅舎はとて貴重な地域の財産である。他の交通機関があり、そちらの方が利用者が多くとも、既にある財産を無駄にせず活用していくことを考えていくべきである。	計画素案においても、鉄道やバス、タクシーといった異なる特性を持つ交通モードを組み合わせ、最適な交通ネットワークを作れるような施策内容としているところだ。
2	女性	-	(高速バスには、遅延や空間の狭さ、木更津市内や市原等には直接行けないというデメリットがあるという前提で) ・新宿さざなみ号の土日祝日の確実な運行 ・館山～千葉間を乗り換え無しで行ける直通列車の運行	JR内房線のダイヤ等に関する要望は、千葉県が事務局を務める「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」を通じ、利便性の向上を目標に、毎年度要望活動を行っているところであります。また、鉄道については、複数の市町村に関係する広域的な案件であるため、細かなダイヤ等の要望内容を本計画に掲載していません。
3	女性	-	・館山駅舎とその周辺の魅力的な開発、運用 駅に学生をはじめ様々な人が集える場を作り、東口・西口の往来を賑やかにしていく工夫をする。	計画素案の57ページ、「施策2」において、館山駅の待合空間整備等を通じ、人が集える空間づくりを行っていくことを盛り込んでいます。また、駅や交通ネットワークだけが改善されてもまちの魅力は向上しないと考えていますので、現在行われている「リノベーションまちづくり」の事業や商店会等とも連携しながら、駅周辺の活性化に引き続き取り組んでまいります。
4	女性	-	館山駅から海岸、渚の駅、城山公園、夏には沖ノ島等へ回れるバス巡回路線を設ける。	計画素案の69ページ、「施策12」において、小型電動車(グリーンスローモビリティ)を活用した「鏡ヶ浦周遊ルート」の設定を盛り込んでいます。これにより、鏡ヶ浦エリアの回遊性向上を図ることができると考えています。
5	女性		市内路線バスは小型化して、西岬、富崎等老人の多い地域へはできるだけ本数を増やすことで、買物難民や病院通いに困っている人たちが足として使えるようにする。	本数の増加はすぐに実現させられるものではありませんが、計画素案全般においても、公共交通空白地を解消するための施策を盛り込むと同時に、分かりやすく使いやすい移動手段を提供することで、福祉・商工施策と連携しながら、困っている人を減らすための取り組みを進めたいと考えています。
6	女性		高速バスの乗り場や待合室について、駅舎との連携がとれないか。東京・新宿行きと、千葉・横浜方面行きの乗り場や乗り方の違いは慣れない者にとってはとても不便である。「バスタ新宿」のような統合は不可能なのか。会社の違い(鉄道とバスを含む)の違いを超え、館山のまちづくりを本気で協力して作り出す必要がある。	計画素案の57ページ、「施策2」において、分かりやすく利用しやすくするための館山駅各施設の利便性向上を盛り込んでいます。また、市としても、会社間、業態間の垣根を超えた事業を実施できるよう、各社・団体との連携を一層強化していく所存です。
7	女性	49	基本理念の1番目「持続可能で利便性の高い公共交通ネットワーク」とあるが、既存のものをどう活用し、修正して利便性を高めていくべきかはあくまでも現実を踏まえての理論であるべき。バス路線が重複している区間では、2社の時刻が2～3分しか違わず、乗り遅れると1時間待たなければならない現実がある。また、バスに乗車したところ、調査員からアンケートの依頼があり、バスのステップが高いことなどを話した。調査員は委託会社の職員で2名とも千葉県民ではなかったが、実態を知るべきは市議会議員や市職員等、市政に直接関わる人たちなのではないか。	計画素案の54ページ、「施策1」において、2社のバスが運行されている館山駅から宮城の間のダイヤやルート等の整理を行うことを盛り込んでいます。また、路線バスの利用実態調査については、調査会社に委託することもあります。本市及び南房総市職員も定期的にバス路線の調査を行い、利用者からのヒアリングを行っています。

館山市地域公共交通網形成計画 パブリックコメントでいただいたご意見と対応について

	性別	ページ	意見概要	意見への対応
8	女性	49	基本理念の2番目「地域の魅力を満喫できるような観光二次交通を充実させることで、衰退傾向の公共交通を下支えする」とあるが、館山市を中心とする内房の魅力は、海を中心に穏やかに変化する四季の自然の美しさ。魅力的な観光の目玉になる産業を興すとはどんなことなのか。観光客は目に見えて減り、駅前商店街は閉店に次ぐ閉店で空洞化が進むばかりであるが、計画担当者はこの問題をバスのやり繰りで乗り切つつもりなのか。	公共交通を維持・充実させることは、地域内を誰もが自由に移動する環境づくりに資するという観点から、地域のよさを深く知り、まちの魅力を向上させるための手段になりうると認識しています。観光二次交通についても、現存する館山の観光資源をつなぎ、回遊性を高めることでより多くの人に館山の良さを知ってもらおうという考えで施策を立案しています。
9	女性		JR内房線をめぐっては、平日の特急廃止や日中時間帯の千葉直通列車廃止、通勤利用があった朝5時台の減便等が行われているが、そのことに対する危機感が薄いと感じる。今回発表の計画素案では、現在の列車運行本数を維持し、平日の特急または特別快速の復活や早朝夕方の列車充実にJRに求めていくことが必要ではないかと考える。	JR内房線のダイヤ等に関する要望は、千葉県が事務局を務める「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」を通じ、利便性の向上を目標に、毎年度要望活動を行っているところであります。また、鉄道については、複数の市町村に関係する広域的な案件であるため、細かなダイヤ等の要望内容を本計画に掲載していません。
10	女性		館山駅改札外の市が管理するトイレ改修と清掃の徹底は、街の印象を良くする大きな要素と考える。少なくとも和式トイレを洋式トイレに変えることを提案する。	計画素案の57ページ、「施策2」において、トイレの整備もあわせた快適な待合環境の整備を盛り込んでいます。
11	男性		歩道の整備など歩行者や車椅子の方、視覚障害者に対する観点が不足しているのではないかと。	歩道の整備等について、本計画に掲載していませんが、障害者にやさしい公共空間の整備については、「第5次館山市障害者計画」の施策に盛り込まれています。 なお、公共交通に関するものとしては、計画素案の76ページ、「施策17」において、バスやタクシー車両のバリアフリー化促進を盛り込んでいます。
12	男性		日常的に自転車を利用する方々にとって、館山市は道が狭い・段差があるなど安全性に問題がある。また、重症事故は頭を打つてのことが多いので、高校生や高齢者にもヘルメットの着用を推奨すべきだと思う。自転車利用者の安全性という観点も必要ではないかと。	自転車利用者の安全性やサイクリストの声等について、本計画に反映させる予定はありませんが、別途策定した「館山市自転車ネットワーク計画」において、自転車道の整備やサイクリストへの啓発等の施策を定めています。
13	男性		遠方から来るサイクリストたちからは、案内板を充実させて欲しいという意見が出ている。また、道が狭いなどの安全性を疑問視する声もある。サイクリストの声も反映できた方が良い。	
14	男性		駅前の自転車置き場が旧サカモト前の場所に雑然と置かれているが、まちづくりの観点から場所の変更も検討すべきではないかという声が、リノベーションスクールで出ていた。自転車置き場の配置変更も検討に値するのではないかと。	計画素案の57ページ、「施策2」において、駅前広場の再整備について盛り込んでいます。再整備検討の中で、自転車置き場の配置変更も議論になると考えています。

館山市地域公共交通網形成計画 パブリックコメントでいただいたご意見と対応について

	性別	ページ	意見概要	意見への対応
15	男性		鉄道のダイヤに関する内容が乏しい。館山駅での乗り継ぎについて、鴨川方面から、また千葉方面から、長すぎず、短すぎずという接続時間の改善を求める意見もある。館山駅での乗り継ぎ時間も大事ではないのか。	JR内房線のダイヤ等に関する要望は、千葉県が事務局を務める「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」を通じ、利便性の向上を目標に、毎年度要望活動を行っているところであります。また、鉄道については、複数の市町村に関係する広域的な案件であるため、細かなダイヤ等の要望内容を本計画に掲載していません。
16	男性	内房線千葉方面の日中時間帯は君津駅での乗り継ぎであるが、千葉方面行きは事前に調べられるし、館山駅ホームにも掲示があるが、帰りの場合の君津乗り換えはスマートフォン使用者でないと、接続時間の確認にひと手間かかる。また、館山駅と同様に接続時間の長短の問題もある。千葉方面から帰りの君津駅接続の問題も対策を考えて欲しい。		
17	男性	そもそも日中の千葉駅への直通列車を復活させて欲しいので、鉄道ダイヤの改善も計画に入れて欲しい。		
18	男性		タクシーであるが、深夜1時から朝7時までの営業がなくなって不便だという声がある。これでは深夜の急病は、タクシーで済んでいたものが、家で我慢するか、救急車の利用となり救急に悪影響を与える。さらに、深夜の病院から帰れなくなる。また、早朝の出発にタクシーを利用していた人も困っている。タクシー事業者が輪番でも、一台でも営業してもらえるように協議して欲しい。	タクシー事業者へのヒアリングでは、「乗務員のみならず、予約を受け付けるスタッフも含めた人員不足等により、深夜営業の復活は難しい」との回答をいただいておりますが、引き続き事業者との協議に努めます。
19	男性		路線バスもタクシーも運転手不足なので、市として募集に協力することも必要ではないか。	バス事業者が独自で高校訪問や「お仕事さがし」のようなイベントに参加し、求人を行う動きも出ていますが、市としても、イベント参加に当たっての橋渡し等、可能な範囲で事業者の求人活動の支援に努めます。
20	男性		観光に関連する交通施策であれば、財源として観光振興基金の活用も可能ではないか。	観光振興基金の活用については、今後検討してまいります。